

日本脊椎脊髄病学会  
平成 27 年度第一回新技術評価検証委員会  
日時：平成 27 年 4 月 16 日(木) 8：00-9：00  
場所：福岡国際会議場 4F 401

出席者：岩崎、川上、朝妻、伊東、武政、永島、中村、藤林

欠席者 西良、水谷

理事会報告

岩崎理事から理事会報告があり

正式に XLIF 調査が認められた。しかし、メーカーの関与は原則的になしとの方針で調査を行うようにとの指示があった。

審議事項

XLIF, OLIF 合併症調査について（資料 1）

1) 送付場所の最終決定

事前のメール会議では多くの委員から指導医のみ、との意見があったが、指導医以外で手術をしている施設がある、とのコメントがあり。最終的には学会員全員に連絡し、施設ごとでまとめて報告するようにコメントを付け加えるとすることで重複を防ぐことになった。

アンケートの回収率を上げるために地域毎に担当を決めて少なかった場合の対応を個別にすることで意見が一致した。

担当は	北海道	伊東
	東北	伊東
	関東	中村
	中部	水谷
	近畿	藤林
	中国	永島
	四国	西良
	九州	武政

とのことで決定

2) アンケート用紙最終確認

必須項目を入れると WEB 上では全くその後のアンケートが終了できなくなるため、原則すべて必須とするが、WEB 上では欠損データがあっ

でも次に進めるようにすることで了解。

内容においての確認を行った。

- a. ケージ素材は不必要
- b. 執刀医経験年数は単に医師になった時期を西暦で記載する
- c. 腰椎前方手術数は XLIF, OLIF 開始以前の症例数とし、open 手術の数を 10 未満、10 以上として答えるようにする
- d. Lumbarization や sacralization 等があると記入に問題が生じるので、単に L5 以下としてまとめる。

3) 本結果の公表をどのような形で行うか

しっかりとした形でジャーナルに残す必要があり、JSSR 雑誌に発表する(英語)ことでコンセンサスを得た。

#### 今後のタイムライン

- 1) 日整会以後で各委員に送付
- 2) 7月いっぱいでのアンケート締め切り
- 3) 8月に委員会を開催し、そこで内容を確認する。アンケート回収率に問題があるようなら予め決定した通り、地区ごとに確認作業を行う
- 4) 10月には最終アンケート結果をまとめる。
- 5) 来年4月の本学会学術集会にて結果を報告する。(論文も同時作業で作成)

文責 川上紀明